

自立活動目標設定シート

学年・学級	氏 名
障害の種類・程度や状態	

実
態
把
握

障がいの状態、発達や経験の程度、興味・関心、生活や学習などのについての情報収集					
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
○夏休み以降、睡眠のリズムが安定し、食事がとれている。(その影響で、笑顔が多く、意欲的に活動に参加できることが多くなっている。) △睡眠のリズムが安定していない。(菓を飲んでいるが、安定しない。)日中の嫌だった出来事がフラッシュバックしたりしている様子。 △食事は好きだが、気持ちの不安定さがあり食べられない時がある。お腹が満たされると、気持ちも安定する時が多い。	△友達の声や足音が気になり、気持ちが不安定になることがある。 △帰りたい気持ちになったときに、止められると泣き出したり自傷行為を行ったりする。 ○日程の変更にはある程度対応することができる。 △見通しカードでの提示では、見通しを持ちにくい様子がある。 ○日常生活で繰り返す行動には、見通しをもつことができる。	○集団に従って行動する気持ちを持っているととれる場面が多くある。 ○担任とのコミュニケーションでは、自分の要求を穏やかに伝えることができる。	○教室には慣れており、安心できる場所として本人が過ごせる場所となっている。また、教室で大きな声や泣き声が聞こえた時には、その場で泣いたり、教師の手を引いて別教室に移動したりする。 ○ラミネートをべらべらする遊びが好き。学習で使っているラミネートを剥がして遊んでいることがよくある。 △環境や状況に応じた行動を自ら取ることが難しい。(生活リズムが崩れていたから?)	○跳ぶ、回るなど感覚に刺激が入る運動を好む。 ○泡遊びの時に、自分から積極的に取り組む姿が見られた。	○帰る目的を達成するために、自分から難しいと感じる支度に関わり、自分から取り組む気持ちが強く出ることがある。 △クレーンや物を介してコミュニケーションを取ることもあるが、あまり自分からコミュニケーションを取るほうではない。

 文頭に良いところは○を
 課題点には△を記入。
  ※幾つかの指導目標の中で優先する目標として

長期指導目標	・安心した気持ちで、わかる活動に自ら取り組むことができる。 ・落ち着ける環境(状況や道具)を知ることができる。
--------	--

 ※指導目標を達成するために必要な項目の選定

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
☒ 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。	☒ 情緒の安定に関すること。	☒ 他者とのかかわりの基礎に関すること。	☒ 保有する感覚の活用に関すること。	☐ 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。	☒ コミュニケーションの基礎的能力に関すること。
☐ 病気の状態の理解と生活管理に関すること。	☒ 状況の理解と変化への対応に関すること。	☐ 他者の意図や感情の理解に関すること。	☐ 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。	☐ 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。	☐ 言語の受容と表出に関すること。
☐ 身体各部の状態の理解と養護に関すること。	☐ 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。	☒ 自己の理解と行動の調整に関すること。	☐ 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。	☐ 日常生活に必要な基本動作に関すること。	☐ 言語の形成と活用に関すること。
☐ 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。		☐ 集団への参加の基礎に関すること。	☒ 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握と状況に応じた行動に関すること。	☐ 身体の移動能力に関すること。	☐ コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。
☐ 健康状態の維持・改善に関すること。			☐ 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。	☐ 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。	☐ 状況に応じたコミュニケーションに関すること。

※選定された項目を関連付け
 具体的な指導内容を設定

具体的な指導内容	・本人が好きな道具で過ごす。 ・身体を動かしたり、休めたりすることができる。
具体的な指導場面 ○誰が ○いつ ○どこで	・自立活動の時間にリラックスできる道具や好きな道具を教師と一緒に探す。 ・教室でもその道具を使って気持ちを安定させる。 ・自立活動の時間では、プレールームで体を動かしたり、自立活動室でリラックスの時間を設ける。繰り返し活動することで見通しをもって活動できるようにする。
短期指導目標	・安心した気持ちで過ごすことができる。 ・見通しをもって活動に取り組めることができる。